

『甲種 危険物取扱者試験 令和4年版』 に関するお詫びと訂正のご案内

『甲種 危険物取扱者試験 令和4年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願い致します。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。

よろしくお願い申し上げます。

初 版

P137 更新：R4.10.1	誤	<p>◎屋外貯蔵タンク、屋内貯蔵タンク、地下貯蔵タンクまたは移動貯蔵タンクに新たにアルキルアルミニウム、アルキルリチウム等やアセトアルデヒド、酸化プロピレン及びジエチルエーテルを注入するときは、あらかじめ当該タンク内の空気を不活性の気体と置換しておくこと。※「及びジエチルエーテル」の記載を削除</p>		
P142 更新：R4.10.1	誤 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 正	<p>問12…正解5 (A・B・E・G・K) 問12…正解4 (A・B・E・K) ※「G (ジエチルエーテル)」を削除</p>		
P314 更新：R4.5.20	誤 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 正	<p>■エーテルの特性 ◎酸素原子にに2つの炭化水素基R¹とR²が結合した形の化合物をエーテルという。 [略] ◎ジエチルエーテルは水には溶けにくく、エーテルに比べると反応性に乏しいが、多くの有機物を溶かすため、有機溶媒として広く使われている。</p> <p>■エーテルの特性 ◎酸素原子にに2つの炭化水素基R¹とR²が結合した形の化合物をエーテルという。 [略] ◎ジエチルエーテルは水には溶けにくく、エタノールに比べると反応性に乏しいが、多くの有機物を溶かすため、有機溶媒として広く使われている。</p>		
P405 更新：R4.2.14	誤	<p>▶カルシウムCa</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">性 質</td> <td> <p>◎銀白色の金属。 ◎比重1.6。 ◎炎色反応：橙赤。 ◎水と激しく反応して、水素と熱を発生する。また、水酸化ナトリウム ← 記載を削除 NaOHには潮解性がある。 2Na + 2H₂O → 2NaOH + H₂ + 369kJ ◎水と反応して水素を発生し、水酸化カルシウム（消石灰）を生じる。 Ca + 2H₂O → Ca(OH)₂ + H₂ [以下 略]</p> </td> </tr> </table>	性 質	<p>◎銀白色の金属。 ◎比重1.6。 ◎炎色反応：橙赤。 ◎水と激しく反応して、水素と熱を発生する。また、水酸化ナトリウム ← 記載を削除 NaOHには潮解性がある。 2Na + 2H₂O → 2NaOH + H₂ + 369kJ ◎水と反応して水素を発生し、水酸化カルシウム（消石灰）を生じる。 Ca + 2H₂O → Ca(OH)₂ + H₂ [以下 略]</p>
性 質	<p>◎銀白色の金属。 ◎比重1.6。 ◎炎色反応：橙赤。 ◎水と激しく反応して、水素と熱を発生する。また、水酸化ナトリウム ← 記載を削除 NaOHには潮解性がある。 2Na + 2H₂O → 2NaOH + H₂ + 369kJ ◎水と反応して水素を発生し、水酸化カルシウム（消石灰）を生じる。 Ca + 2H₂O → Ca(OH)₂ + H₂ [以下 略]</p>			
P413 更新：R4.11.30	誤 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 正	<p>【問2】 黄リンの性状について、次のうち誤っているものを2つ選びなさい。[編] [★] 【問2】 黄リンの性状について、次のうち誤っているものはどれか。[編] [★]</p>		
P416 更新：R4.11.30	誤	<p>問2…正解2&3 2. 燃焼すると十酸化四リンができるため、白煙を生じる。 3. 発火点は34～44℃である。 ※正解の「2」を削除 ※解説の「2. 燃焼すると十酸化四リンができるため、白煙を生じる。」の記載を削除</p>		